

公益社団法人 岐阜県交響楽団

〒501-3133 岐阜市芥見南山3丁目7の10
 TEL<058>244-0150 FAX 244-0151
 ホームページ <http://gikyo.ktroad.jp/>

第101回定期演奏会の開催にあたり

岐阜県交響楽団
副理事長 早川 幸



昨年、岐阜県交響楽団（岐響）は創立70周年を迎えました。オギャーと生まれた赤ちゃんが古希を迎えた、そんな長い時間です。「オーケストラは地域の文化のバロメーター」、その思いの元生まれた岐響は、解散の危機や世の中の流れに紆余曲折するときもありましたが、先人の情熱の灯は消えることはありませんでした。

その後社団法人、公益社団法人とますます組織もしっかりし、社会的にも責任のあるオーケストラに成長することができました。岡本太右衛門名誉理事長（前理事長）

をはじめとする歴代の理事長、役員、理事の皆さま、会員の皆さま、そしてなによりも演奏を聴いてくださる皆さまのおかげでここまで来ることができました。心より感謝申し上げます。そして二年前に理事長に就任いただいた矢橋修太郎氏の元、さらに80年90年と道は続いていきます。

もう一つ、昨年、岐響は第100回の記念定期演奏会を開催することができました。100回という数字は、楽団員が一回一回積み重ねてきた回数です。それぞれ仕事をもちつつ、練習は毎週土曜日の夜（本当に毎週です！）、世間では「土曜日の夜は家族タイム」が多いかと思いますが、家族を置いて出てきています。楽団員の努力は勿論、それ以上に家族の皆さんのご理解とご協力があればこの100回も成し

えることはできません。家族のみなさまにも感謝です。岐響は会社組織ではないので上下関係はありません。みんなで目標を定め、お互いをリスペクトしながら日々大好きな音楽に真摯に向き合っています。初めてオーケストラで演奏した感動、初めてお客さまから拍手をいただいた感激。71年目に入り、今一度初心に帰ってオーケストラ活動ができる喜びと感謝の気持ちをもちながら、今後も丁寧な曲を仕上げていきたいと思えます。

時代はネット社会にどんどん進んでいきます。音楽もいろんな聴き方ができるようになりました。パソコンやスマホからも簡単に音楽を聴くことができます。それも楽しみ方の一つではありますが、是非とも今回のように会場にお出かけいただき、生の演奏を聴いていただきたい。コロナのおかげ（？）で、楽団員は同じ時間と空間を共有できる幸せを改めて感じました。何なのかはよくわかりませんが…人の温も

りなんでしょうか。時間と空間と息遣いまで共有できることは、演奏者とお客さまの間も同じだと思います。生の演奏の素晴らしさ、オーケストラの響きの素晴らしさを周りの方に伝えていただければ、これからも頑張ります。

「岐阜には岐響っていうアマチュアオーケストラがあつてね、演奏会に行つて聴くとなんか心穏やかな幸せな気持ちになるんだ。今度一緒に行こうか」という会話が聞こえてくるようになったらいいなと思えます。

今回101回目の定期演奏会の開催にあたり70年の歴史の重みと、岐響を未来につなぐ責任を感じながら「原点回帰」をテーマに新しい一歩を踏み出します。今後とも岐阜県交響楽団を応援していただきますよう、心からお願い申し上げます。

岐阜県交響楽団
チエロ奏者

「岐阜県交響楽団第101回定期演奏会」

演奏会に寄せて

指揮者 藏野 雅彦

第101回定期演奏会を

指揮するにあたり

ヴェルディのレクイエムをご存知だろうか？大指揮者カラヤン曰く「管弦楽、独唱、合唱のために書かれた世界最高の音楽」であるこの曲は、キリスト教音楽であるにも拘わらず、まるでイタリャオペラの音がする。ヴェルディらしさという観点からも、宗教音楽という観点からも最高であるが、一聴してミスマッチに感じられる。この現象こそが、実はヴェルディの魅力で、旧約聖書のユダヤ人の物語「ナブッコ」序曲でも、その魅力をお楽しみ頂けると思う。

ワーグナーのオペラは12〜13世紀の騎士が活躍した時代を背景としたものが多く、勇者の大冒険物語はスベクタクルでファンタジックでわくわくす

る。これは現代のゲームRPGに受け

継がれている。おそらくワーグナーの憧れと自身の人生や愛情についての考え方が音楽に表現されているのだと思うが、多くの作品において「聖」と「俗」の厳しい対立を物語の核としている。

今回「ローエングリン」では聖なる情景を描いた2曲と英雄の飛翔を感じる曲そして不幸な結末を暗示する皮肉なことに「結婚行進曲」数小節を演奏する。

101回定期のコンセプトとして「原点回帰」が掲げられている。これは昔を懐かしむというセンチメンタルな意味はなく、これからの岐響がさらに発展するために、出発点で感じたオーケストラへの高まる想いを再確認し、今日から岐響の新たな素晴らしい歴史を創っていくという事なのだと思っている。

「原点とは？」その答えは人により様々だと思いが、101回定期におい

ては「ベートーヴェン」なのだと思う。岐響に入団し、初めてベートーヴェンを演奏した時の自分を思い出そう。感動はあったのか、そこに何を加えるのか、今、自分にできる事は何なのか、そういったことに思いを馳せながら、良き仲間と音楽の時間を共有できる幸せと、70年培ってきた岐響の美しい音を紡ぎ合わせ、サラマンカホールを大きな感動で満たしたい。

「最も音が美しい配置」対抗配置

今回の演奏会では対抗配置を採用している。僕が対向配置をお願いする理由は二つ。一つは「1750年から1950年の間第1Vnと第2Vnは左右に分かれて配置されていた」という事実。これは記録と映像で容易に証明できる。そして、その間に活躍した作曲家の目の前には対向配置のオーケストラがあり、対向配置でなければ意味をなさない音楽も多く書かれた。ベートーヴェン、ブラームス、ブルックナー、マーラー等のスコアを見れば必ず理解できる。

1950年以降の配置についてはス

テレオ録音がやり易い形態が選ばれたのだと思う。

もう一つの理由は「最も音が美しい配置」であると感ずるから。各パートがクリアーに分離して聴こえ、さらに音バランスが調整がし易くスコアの再現に有利だと感じる。

かつてブロムシュテット指揮、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団の演奏を聴き「今までの人生で最も美しい音」だと感じた。オーケストラは対向配置で置かれていて「僕も生涯この配置で指揮しよう」と決めたのだった。

「クラシック」そして「絶対音楽」

指揮者となって数十年、この間ずっと大切に言い続けてきたことがあつた。「クラシック」という言葉について、である。単に古いという意味ではなく、何百年、何千年と時が経過しても、価値が失われることなく、現在も作られた時と同じ、またはそれ以上に輝き続ける創造物を意味するのだ。これが第一の内容。

第二の内容、大切にしていることは「絶対音楽」という言葉。これを理解

しいかに取り組むか、ということである。

昨今、言語によるコミュニケーションの重要性が盛んに謳われており、音楽を奏でる前に、まず言葉、文字ありき、という風潮に憤りを感じている。

すでに故人だが、マイルス・デイヴィスというジャズのレジェンドが、彼の音楽について雑誌記者からの質問攻めに会い、うんざりして言い放った言葉が「音楽は音に語らせろ」という一言であったという。

「音ありき」…あまりにカッコよい言葉で痺れてしまう。自分もこうありたいと思うけれど、指揮者という立場上、作品について猛勉強して、自分なりの曲想と、アプローチに方法をオーケストラに提案しなければならぬ。文字情報は自分の仕事に不可欠で、扱う言語は簡潔かつ洗練されたものでなくてはならない。しかし、音符が音となった瞬間、文字情報を消去し、純粋で美しい音として奏されるようサポートする。音以外の何かが付属することを許してはいけない。

言葉では言えても、自分にそんなことができたか、これからできるのか？と問われれば、「NO」である。残念！

なんと歯がゆい現状だろう…。

「クラシック」「絶対音楽」そのふたつを大切に思いながら、理想に向けて、丁寧に試行錯誤を繰り返す、どうか、そんな僕に今しばらくお付き合い願いたい。

岐阜県交響楽団のこと

前回ご一緒したのが2011年の第78回定期で、チャイコフスキーの歌劇

「エフゲニー・オネーギン」より“ポロネーズ”、ラフマニノフのピアノ協奏曲第2番、ブラームスの交響曲第1番という素晴らしいプログラムで、終演後の興奮と満足感を今でも思い出せるほどだから、とても良い演奏をしていただいたのだと思う。さらに打ち上げの時、どなたかのスピーチで「岐響と藏野さんは相性が良い」という発言があつたので僕は大変喜んだ。

こういうのはご縁の問題、2回目は共演となる今回まで結構間が空き、実は、僕の知る岐響とは全く違うオーケストラと向き合うことになるのではないかと、若干不安な気持ちになつてた。



4月20日の初回練習で、懐かしい岐響練習場に到着し、皆さんのお顔を拝見したとたん、僕の気持ちは時空を飛び越え、2011年の岐響との時間に繋がった。まるで昨日までブラームスのリハーサルをしていたかのような気持ちになれたこと、それが本当に嬉しかった。

現在、3回のリハーサルが終了したという状態だが、オーケストラのサウンドが素晴らしいと感じている。現時点では、ワーグナーで一番良い音が出

ていると思う。今後ワーグナーにさらに磨きをかけることができれば、19世紀のオペラの世界の対極に位置するヴェルディの音が浮き彫りになってくると期待している。団員さん所有のチンバソンの音が、ヴェルディの音作りに大きな役割を果たしている。こんなに珍しい楽器を所有しておられる団員さんには感謝している。

そして、ベートーヴェンの第6交響曲、「音画ではなく感情の表現」という課題を作曲家から直接与えられおり、この曲こそが101回定期のコンセプト、帰すべき「原点」であり、新たに始めるべき「原点」である。

今岐響が目指すべき最高の美しさを創出し、ベートーヴェンの天才から畏敬の念を持つて学び、感動を創り上げるため、丁寧なアプローチを試みる、それが僕の仕事であり、最高に真剣で最高に楽しい時間になると(すでになっている?)思っている。必ず、良い演奏会となる…そう確信している。

岐響楽器別パート紹介(最終回) ヴィオラ編

我ら地味なヴィオラパートが、楽器紹介のトリを派手に飾らせていただきます。

まずは、楽器の紹介から。見た目はヴァイオリン、音は地味、サイズはまちまち。えっ?!

実は、ヴィオラには大きさの規定は無いんです。今回、岐響メンバーの楽器の身体測定をしてみました。

ヴァイオリンの大きさは、どの楽器もほぼ同じで胴の長さは35.5±0.5cmなんだそうです。一方ヴィオラはヴァイオリンよりも少し大きいという事はご存知かと思えますが、少しという事は果たしてどれくらいのことか。楽器の大きさは、胴長のサイズを基本に考えるようで、例えばヴァイオリンを24cmの靴と例えて単純に比例で計算してみると、胴長40cmのヴィオラは27cmの靴、胴長41.5cmのヴィオラは28cmの靴ということになります。

ヴィオラという楽器に求められる役割は、ヴァイオリンとチェロの間を埋める音域を出すことです。理にかなった楽器の作り方をすると、チェロのように足で挟んで弾くには小さく、ヴァイオリンのように顎で挟んで弾くには大きく、中途半端。そこで、無理やり少し小さめに作ったのが、現在のヴィオラなんだそうです。だから、サイズがまちまち。楽器としては大きい方が

音量が大きく音色もよりヴィオラらしい低音が豊かな音色となります。プロオケのヴィオラを観察すると、大きめのヴィオラが目立ちます。海外のとあるオケでは45cmが入団条件だとか。(わかる、わかるよ！苦勞してるね)

何が苦勞つて?そりゃあ大きい方が弾くのは大変。単純に楽器が重いだけでなく、楽器が長い腕が伸びる、音程を取るために指を思いきり広げる、自ずと無理な動きを無理やりすることになります。弾きやすさに重点を置き小さめの楽器にすると、音色は明るくクリアなものとなり低音の魅力は少々失われます。ヴィオラ奏者は、ヴァイオリンより少し大きい楽器を地味に頑張り張って弾いているという事をどうかお見知りおきください。そんなこんなで、ヴィオラの楽器サイズはまちまちとなつています。ここでヴィオラジョークを一つ。

★雷とヴィオラ奏者の指との共通点は? 「二度と同じ場所に落ちない」……撃沈あるある

私たちの苦勞を分かっていただけかしら?

★もう一つ自虐ネタヴィオラジョークを。★短2度の定義は何?

「二人のヴィオラ奏者がユニゾンで弾くこ

と」
次はヴィオラを始めたきっかけをメンバーに聞いていきましょう。

Aさん…従姉妹がヴィオラを弾いて、大学1年の時に今井信子さんのリサイタルに連れて行ってもらったのがきっかけです。いい音!(↑当たり前!)と憧れ、オーケストラに入つてヴィオラを始めようと思いました。

Dさん…ヴァイオリン(難しそうだったので)以外で弦楽器の中で余っている楽器がヴィオラだったからという軽い動機です。

Gさん…大学の寮で向かいの部屋になった同級生に「一緒にオケのオリエンテーションに付いてきてくれ!俺一人じゃ行けない」と半泣きで頼まれ、できたばかりのお友達を失うのも嫌で、渋々付いていくこと



に。私は中高とマジ卓球一筋だったので、音楽に1ミリも興味はありませんでしたが、先輩方に取り囲まれ、私は入る気はありませんと言つても聞いてもらえず、希望楽器にヴァイオリンと書いたその紙が入団届だったようです。練習が始まった時、ヴァイオリンの楽器が1台足らず、誰かヴィオラに代わつてくれないかな〜との問いに手を挙げて晴れてヴィオラになりました。一度だけ練習に行きましたが楽しくない!結局、卓球部へ。1年後、卓球の上達に限界を感じたこと、定演のお手伝いに駆り出された時の演奏(ドボ8)に凄く感動したことで等、卓球部を辞め、2年の時にオケに復活しました。

Kさん…高校卒業の時に吹部の顧問の先生から「大学に行くならオケに入りヴィオラをやりたい」と言われ、実際見学に行つてヴィオラのC線の響きに感動してやり始めました。確かにヴィオラは地味ですが、それをパフォーマンスでカバーしたいという気持ちでやってきました(笑)

Mさん…高校では、吹奏楽部で三年間フルートを吹いていました。大学に入り、オケに入部しようとフルートの見学へ。フルートの募集は一人と分かって…うん、こりゃオーデションになりそうで面倒だな…次にやるならヴァイオリン!と体験の順番待ちに並んでいました。先輩が近づいてきて「ヴァイオリンと同じ形だよ。ヴィオラやってみない?」と話しかけられ、「ま、いつか」とヴィオラに即決。今では、

ヴァイオラの音色に魅了され、内声の心地よさが大好きな私です。

Nさん…大学に入ったらオケに入ってヴァイオリンを始めようと思っていて、それからずっとヴァイオリンを弾いていました。が、37歳の時に所属していたオケにはヴァイオラが誰もいなくて。そこでヴァイオラを始めました。

Oさん…大学1年の時、宮崎先生から「ヴァイオラやってみないか」の一言です。朝妻先生と出会ったことで、今の天皇陛下と兄弟弟子になりました。

Sさん…大学に入って漫研でタバコを吸ってダラダラしていた私をヴァイオリンが上手な友達が楽譜が読めるのならと誘って、もう7月に入っていたと思います。空いていたヴァイオリンパートに入れさせてもらえたという、あの頃はまあ、おおらかでした。何事も。

Tさん…大学の入学式で学生指揮による管弦楽団と合唱でヘンデルの「ハレルヤ」を聴いて大学オケに入団したこと。子供の頃に習い事をさせていなかったのを気にしていた父親が「楽器は一生物だから」とヴァイオラを買ってくれたこと。10年のブランクの後に岐響に入団したこと。これらがきっかけで演奏を再開し続けることができ、メンバーと共に日本を代表する指揮者やソリストの指導を受けることが出来るのは生涯最高の習い事となっています。

Uさん…高校では吹奏楽部に入ろうかなと思っていました。部活紹介で弦楽合奏部の凄

く上手な先輩が弾いたヴィヴァルディの春に衝撃を受けて、その先輩に憧れて部活見学に行き、ヴァイオリンもヴァイオラもチェロも触らせてもらいました。入部届出の日に最初の「ヴァイオリンやりたい人」の声に、なぜか手を挙げず、「じゃあヴァイオラやりたい人」には手を挙げました。それが何故なのかは、今となっては謎です。

Vさん…大学1年の冬、隣の部屋の同級生が「室内合奏団というクラブに入らへんか？」と、全く楽器経験のない私を誘ってくれました。部屋に行ってみると先輩から「この楽器が余ってるから」と渡されたのがVヴァイオラでした。

Wさん…もともとピアノを習っていたり、高校で吹奏楽(クラリネット)をやっていたりしたので、大学でも音楽系のサークルに入りたいなあと思っていたところ、弦楽合奏団があり、入団を決めました。それまで弦楽器は触ったことがなかったので、さあどれにしよう、チェロとコントラバスは熱烈に希望していた子がいたことや、ヴァイオリンには既に上手い同期が決まっていたことがあり、ヴァイオラが目に入りました。

Yさん…ヴァイオリンをしていた母の影響でヴァイオリンを始めて、中学の終わり頃に岐響Jr.オケに入団しました。その後、御多分に漏れず、ジュニアの先生からヴァイオラの人がいないからやらない？とお誘いを受けました。ヴァイオラに変更して

なかつたら、オケを今まで続けていなかっただかも…と思います。

岐響メンバー13人中、4人が余ってる楽器派、6人が良ければヴァイオラに〜お人好し派、謎なんて結果オーライ系1人、ちゃんと意思を持って始めたのはたつたの2人。ほぼ動機は不純であることがわかりました。

ヴァイオラのオケでの役割は大変に忙しいものであることを、ご存知でしたか？ヴァイオリンのメロディーに寄り添ってみたい、ひたすらリズムを刻んでみたい、チェロとお友達になってリズムを刻んだりハーモニーを作っていたかと思えば、突然ヴァイオリンとユニゾンになっていたり。兎に角、作曲家によっては、手荒い使われ方をする何でも屋さんです。

それなのに、ヴァイオラの音は？と言われる

と…そうなんです、地味なんです。耳に入っているはずなんですけど、目立たないからよくわからないんです。でもヴァイオラ奏者は文句なんか言いません。この何でも屋に惹かれちゃっているお人好しですから。

ここで最後のヴァイオラジョークを。
★聴きにきた家族から「どれがヴァイオラの音か分からなかった」と言われる……あるある

本日は、演奏会にお越しいただきありがとうございます。もし良ければヴァイオラの音を探してみてください。ヴァイオラの音が聞こえたよ〜えっ？貴方もオケの通ですね。また次回の演奏会にも是非いらしてくださいね。

「身体測定結果表」

	胴長	厚み	身長	体重	肩当
上田	39.5	4.5	65.5	640	54.5
大内	40.0	4.8	66.5	709	なし
大野	40.5	4.9	68.5	707	68
小木曾	40.8	4.6	67.0	675	59
甲斐	40.0	4.0	68.5	632	73.2
片桐	40.5	5.0	67.5	ナシヨ	71
柴垣	40.5	4.7	67.0	650	81
諏訪	41.0	4.7	68.5	668	84
曾又	40.5	4.7	67.5	ナシヨ	70
中田	39.5	4.3	65.5	639	71
増田	39.5	4.5	66.0	600	71
村瀬	40.8	4.7	67.2	680	なし
山北	41.8	4.7	68.5	693	64
(参考) SUZUKIヴァイオリン					
	35.5	3.9	58.5	535	57

(長さ：cm 重さ：g)

『対向配置』で聴くオーケストラの響き

今回の第101回定期演奏会で、指揮者の蔵野先生はオーケストラの楽器配置を「対向配置」と呼ばれる配置にされています。蔵野先生は当機関紙の中でも対向配置についても言及されていていらっしゃいますので、是非ご覧いただきたく思います。

ここでは、対向配置というものについて、少しご説明いたしたいと思えます。通常配置

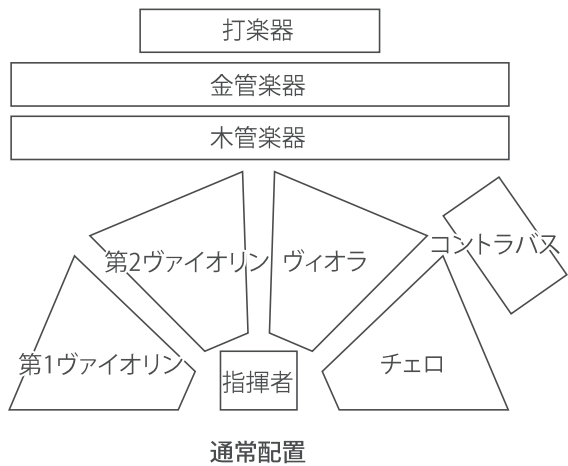
20世紀中盤より現在にかけて、様々なオーケストラで一般的に採用され、よく目にするのがいわゆる通常配置です。弦楽器が、第1ヴァイオリン、第2ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、と高い音から低い音へと順番に並んでいる配置です。指揮者のストコフスキーが1930年代頃考案し、その後広くオーケストラで使われるようになりました。

この時代はこの通常配置が広まり定着していった背景には、近現代曲のオーケストラレーションが複雑化したこと、またレコーディングにおいて、当時盛んに行われるよ

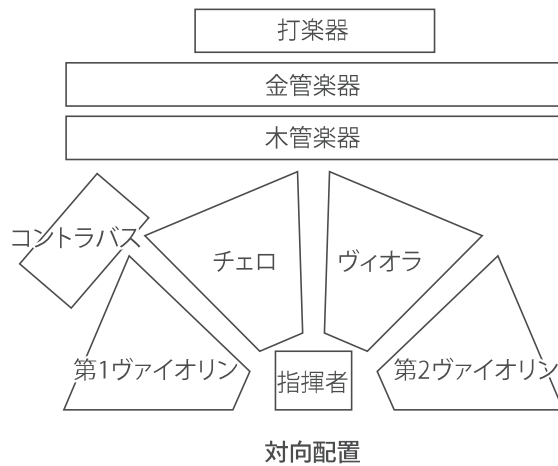
うになってきたステレオ録音の普及がありました。ステレオ録音では、軽く高い音の楽器は左に寄せ、徐々に低音楽器を並べていったほうが都合がよかったです。対向配置

その通常配置が広まる以前に用いられていたのが、対向配置です。古典派からロマン派にかけての作曲家は、この配置を念頭に作曲しました。対向配置の「対向」とは、第1ヴァイオリンと第2ヴァイオリンが指揮者を挟んで「対向」しているため、そう呼ばれています。その他の楽器も、図のように位置が大きく異なります。

この対向配置では、例えば第1ヴァイオリン、第2ヴァイオリンの掛け合い部分が発ステレオ効果としてより鮮明に聴こえるなど、通常配置とは異なった響きがあります。作曲家の意図を忠実に再現するには、その当時のオーケストラ配置（対向配置）が不可欠なので、最近はこの配置をよく見かけるようになりました。



通常配置



対向配置

第2ヴァイオリンから見た対向配置

神谷 繁彦

対向配置のメリットには第1ヴァイオリンと第2ヴァイオリンのメロディが左右から飛んでくるという音響効果がある他、ヴァイオリン同士が向かい合うため互いの表情や動きを見ることができ、音楽的な対話が活発になります。しかし両翼に分かれたヴァイオリンパートは最も離れた奏者同士で15メートル以上の距離となり、ヴァイオリン同士のアンサンブルは難易度が高くなります。またヴァイオリンの音が出るf字孔は楽器を構えると右側（第2ヴァイオリンでは客席の反対側）を向くため、第2ヴァイオリンは通常より大きな音が必要となります。

実際に演奏していると、いつもの配置では第1ヴァイオリンが隣で演奏してこれに乗って弾いている（響きを作る）のが、対向配置では、響きより対旋律を演奏するという役割になり、自己主張をしなければいけないという不慣れさがあります。ただ、今回はヴィオラが隣で演奏しており、演奏場所によってはお互いに助け合うところもあります。

今回の対向配置によって、第2ヴァイオリンがいろいろな意味で鍛えられているというつもりで、練習に、また今回の演奏会で弾いております。

第 39 回国民文化祭 第 24 回全国障害者芸術・文化祭

「清流の国ぎふ」文化祭 2024

ともに・つなぐ・みらいへ〜清流文化の創造〜

2024年10月14日(月・祝)〜11月24日(日)

岐阜県では、2024年の10月

から11月にかけて、国内最大の文

化の祭典「清流の国ぎふ」文化祭

2024を開催します。文化芸術

活動を通して、清流がもたらした自

然、歴史、伝統、技、文化など、岐阜

県魅力を発信していく文化祭です。

岐阜県交響楽団としましても、

「音楽に関する事業を行い、演奏活

動等を通して岐阜県の芸術文化の普

及と向上発展に寄与することを目的

とする。」という定款のもとに、この

文化祭に参加していきます。



◆「オーケストラの祭典」

(高山市：全国文化交流事業)

2024年10月27日(日)

会場 飛騨・世界生活文化センター

飛騨コンベンションホール

指揮 井崎正浩

曲目 歓迎演奏(県内合同オーケス

トラ) リスト／ハンガリア狂詩

曲第2番他

合同演奏(全国公募オーケストラ)

マーラー／交響曲第1番ニ長調

入場料 無料

♪日本の中に位置する岐阜県。

その中でも山紫水明で文化や伝統に

育まれた飛騨高山に全国からオーケ

ストラに親しむアマチュア奏者が集

い、特別編成のオーケストラを結成

して、「清流の響き」を発信してい

ます。岐阜県アマチュアオーケス
トラ連盟が主体となって進めていま
す。マーラー交響曲第1番では、全
国30の都府県から集まった総勢
120名程の大編成オーケストラに
なります。

◆ぎふ市民劇「道三」

(岐阜市：地域文化発信事業)

2024年11月4日(月祝)

会場 長良川国際会議場

「さらさら」

指揮 井村誠貴

芝居・舞踊・邦楽・合唱・オーケ

ストラのコラボレーション

入場料等詳細は未定

♪岐阜市芸術文化協会が中心とな

り進めています。3年前の「道三

が見た夢」は朗読劇でしたが、今回

はリニユーアル。さらにバージョン



▲道三くん

アップしお芝居も本格的に取り組ん
でいきます。オーケストラは勿論岐
響です。柴橋岐阜市長もお芝居で参
加のご予定です！

◆「千人の第九」

(岐阜県：地域文化発信事業)

2024年11月17日(日)

会場 岐阜メモリアルセンター

指揮 井村誠貴

曲目 ベートーヴェン／交響曲第9

番「合唱付き」ほか

入場料等詳細は未定

♪ソリストに松波千津子さん(ソプ

ラノ)、田島聖子さん(アルト)、城

宏憲さん(テノール)、井上博嗣さん

(バス)と岐阜ゆかりの音楽家をお

迎えます、オーケストラは勿論岐

響、指揮は井村誠貴さん。そして千

人の大合唱団。高らかに「歓喜の歌」

を歌いあげます。国民文化祭クラ

シック音楽イベントの最後を飾るに

ふさわしい、にぎやかであり、もし

て感動のステージに乞うご期待！

演奏会 アンケートより

第100回定期演奏会 2023.12.17

- ・夫の看病で疲れていますが、美しい音色が身にしみました。明日からまたガンバレそうです。ローマの祭りは若き日のローマの旅を思い出したりしてとても楽しい曲で、演奏もすばしかったです。
- ・Welcome concert でハンドベルの美しい音色を楽しみました。本編のラフマニノフのピアノ協奏曲第3 番の迫力ある演奏がすばしかったです。地元に近いところにこのような歴史のあるオーケストラがあることを嬉しく思いました。レスピーギの「ローマの祭り」は初めて聴かせていただきましたが、とても興味深かったです。
- ・ピアノが強弱よく、バランスのいい、すばらしい演奏をありがとうございました。アンコールまできかせていただき、金管楽器、打楽器、げん楽器どれも、すごいはく力でとてもすばしかったです。ぼくも、みなさんのような、はく力のあるダイナミックなえんそうがきけるようにがんばりたいです。ありがとうございました。
- ・ラフマニノフは本当に難しそうで、みごとでした。レスピーギは初めて聴きましたが楽しそうな曲でした。とても素敵なアンコールでした。
- ・すてきなえんそうで、とてもすごいと思いました。えんそうを聞いて音楽にきょうみを持つことができました。



▲ピアニスト古田友哉さんとのラフマニノフ

'24岐響ファミリーコンサート 2024.3.17

- ・素晴らしかった。火星は難しいのに音量もあり、本当に良かった。しんせかい、見ていて指揮がめちゃくちゃむつかしいように思いました。ソプラノは美しかったです。木星は天空のサンタクローズというだけあって、壮大でした。
- ・どれも素敵でしたが、火星はしびれました、迫力がすごかったです。歌も鳥肌がたちました。すきとおるような高音が本当に素敵でした。耳が聞こえなくなって出掛けることに消極的になっていた父が、補聴器なしで楽しめたようです。これがきっかけでどんどん前向きに出掛け、楽しみが増え、これからの人生がより豊かになるといいなと思います。素晴らしい演奏をありがとうございました。

- ・壮大な 音につつまれ 気持ちよく
宇宙のはてに 想いはせる春
- ・コンサート はくりよくすごい音ひびく
平和かみしめ 味わう幸せ
- ・たのしいな、えんそうかいは、おときれい
- ・さらさらと 岐響の調べ 春の川



▲今回も指揮者はコーナー盛り上がりました！